JTC1020　オイルチェンジャー
取扱説明書

〈本製品の特徴〉

○本体内部の空気を排出し、真空にすることで
　オイルを抽出します。
○本体内部にフロートが入っているので、オイルが
　タンクがいっぱいになると自動で抽出が止まります。
　（オイルが溢れ出すことはありません。）

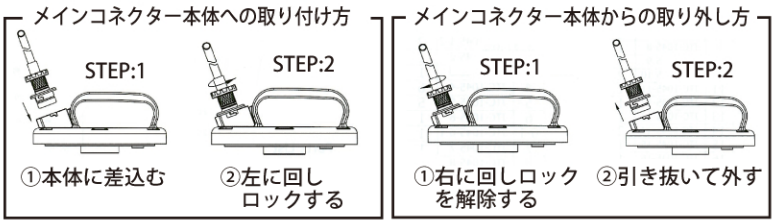
⚠ ご使用上の注意

1. エンジンオイルを抜き取る場合は、車体が水平であることを確認して下さい。
2. 冷えきったオイルではうまく抜けない場合がありますので、５分間ぐらい暖気運転をして下さい。
3. 走行直後の場合はオイルが高温になっている為、油温が 80℃以下になるまでご使用にならないで下さい。
　（火傷又は容器の破損等の恐れがあります。）
4. 車種によって使用できない場合があります。
5. 必要以上にポンピングしないで下さい。タンク内の圧が下がりすぎてタンクが破損する場合があります。
6. ガソリン等の揮発性の物には使用できません。

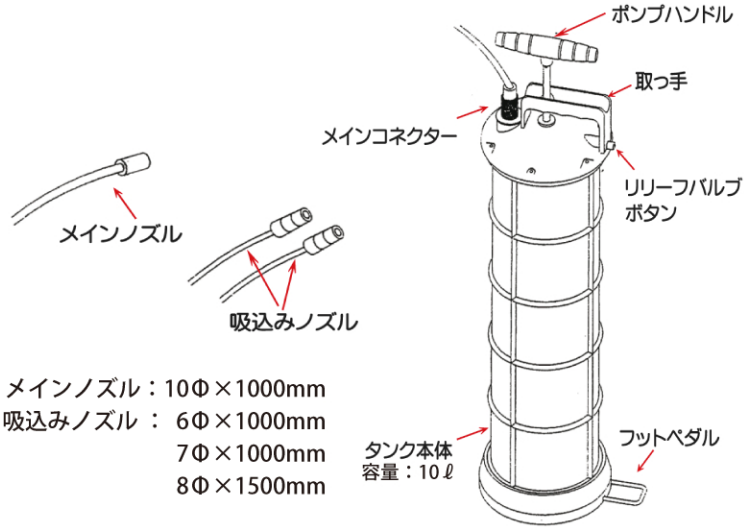
〈使用方法〉

1. エンジン側のオイルゲージを抜き取って下さい。
2. オイルゲージの穴径に合う吸込みノズルを選択して下さい。
3. メインコネクターを本体に取付けて下さい。
4. メインコネクターにメインノズルを接続して下さい。
5. 選択した吸込みノズルとメインノズルを接続して下さい。
　吸込みノズルをエンジンのオイルゲージの穴に差し一番奥まで入れて下さい。
6. フッドペダルを踏み、ポンプハンドルを一番上まで上げて、上下に 10 ～ 20 回ポンピングすればオイルが抽出され始めます。オイル抽出中はポンピングし続けるする必要はありませんが、吸いが足りない場合は再度ポンピングして下さい。
7. 作業終了後、又はタンク内にオイルがいっぱいになった時は、リリーフバルブボタンを押して圧を抜いて下さい。
8. 本体からノズル、メインコネクターを外し、オイルを排出して下さい。

※エンジンによっては全量吸い上げない場合があります。



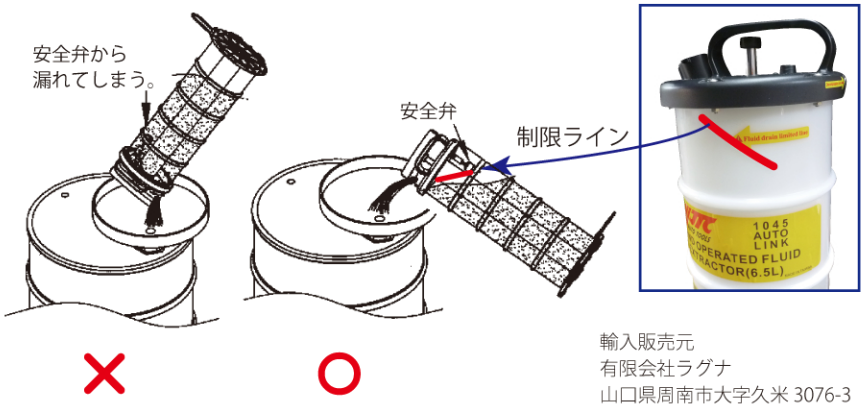
※ポンプハンドルを取っ手から引き上げ
90 度回転させてから使用して下さい。



メインノズル：10Φ×1000mm
吸込みノズル ： 6Φ×1000mm
　　7Φ×1000mm
　　8Φ×1500mm

〈排出時の注意〉

・排出するときはタンクの傾きに注意して行って下さい。
・制限ライン以上に傾けないように排出して下さい。
・制限ライン以上に傾けてしまった場合、安全弁からタンク中央のオイルがエアータンク内に入り、タンク底部のエアーバルブからオイルが漏れ出ます。



輸入販売元
有限会社ラグナ
山口県周南市大字久米 3076-3
TEL　0834-36-1300
FAX　0834-36-0550